



取扱説明書

DuraVision® FDX1502T

タッチパネル装着カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

- ・ モニターの設置 / 接続については、セットアップマニュアルを参照してください。
- ・ 取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

www.eizo.co.jp

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本製品の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

目次	3	付録	24
第1章 はじめに	4	商標	24
1-1. 特長	4	ライセンス	24
第2章 基本の調整 / 設定	5	アフターサービス	25
2-1. 音量を調整する	5		
2-2. 入力信号を切り替える	5		
2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える	5		
2-4. 明るさを調整する	6		
第3章 詳細な調整 / 設定	7		
3-1. 設定メニューの基本操作方法	7		
3-2. 設定メニューの各機能	8		
● カラー調整	8		
● 信号設定	10		
● 本体設定	13		
● 言語選択	14		
● インフォメーション	14		
第4章 管理者向け設定	15		
4-1. 「Administrator Settings」メニューの 基本操作方法	15		
4-2. 「Administrator Settings」メニューの 各機能	16		
第5章 こんなときは	17		
5-1. 画面が表示されない場合	17		
5-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共 通）	18		
5-3. 画面に関する症状（アナログのみ）	19		
5-4. タッチパネルに関する症状	20		
5-5. その他の症状	21		
第6章 ご参考に	22		
6-1. 複数のコンピュータを接続する	22		
● 接続例	22		
6-2. 対応解像度	23		

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 15型画面
- 解像度1024×768対応
- LEDバックライト液晶パネル搭載
従来の蛍光管バックライト液晶パネルと比較して電力効率が高く、消費電力が抑えられます。また、有害物質である水銀を含有していません。
- 本体には通気孔がなく、塵などが浸入しにくい設計となっています。
- ステレオスピーカー搭載（※パネルマウント/シャーシマウントの場合は搭載されていません。）
- 広範囲な動作温度/湿度に対応
 - 動作温度：0～50℃
 - 動作湿度：20～90%R.H.（非結露状態）
- 24時間連続使用で3年間の長期保証
- HDCP（著作権保護技術）により保護されたコンテンツを表示可能
- タッチパネル標準搭載
 - 検出方式：アナログ抵抗膜方式
 - 通信手段：USB転送、RS-232Cシリアル転送（※同時に使用することはできません。）

注意点

- 初期設定では、RS-232Cシリアル転送が無効になっています。RS-232Cケーブルを接続してタッチパネルを使用する場合は、設定の変更が必要です（P.16）。
-

第2章 基本の調整 / 設定

2-1. 音量を調整する

スピーカーの音量を調整することができます。

注意点

・パネルマウント / シャーシマウントの場合は調整できません。

設定範囲

0 ~ 30

設定方法

1. **Ⓜ**を押します。
音量メニューが表示されます。
2. **▼**または**▲**で設定します。
3. 設定が完了したら**○**を押します。

2-2. 入力信号を切り替える

モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。

設定方法

1. **Ⓜ**を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。

2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード	目的
User1	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。
User2	
sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。

設定方法

1. **Ⓜ**を押します。
モードメニューが画面左下に表示されます。
2. **Ⓜ**を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。
モードメニュー表示中は、**▼**または**▲**を押してモードを切り替えることもできます。



3. 設定が完了したら**○**を押します。

2-4. 明るさを調整する

設置環境やお好みに合わせて、画面の明るさを調整できます。

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100

設定方法

1. ▲を押します。
 ブライツネス調整画面が表示されます。
2. ▼または▲で設定します。
3. 設定が完了したら ●を押します。

第3章 詳細な調整 / 設定

この章では、設定メニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。
基本的な機能については、「第2章 基本の調整 / 設定」(P.5)を参照してください。

3-1. 設定メニューの基本操作方法

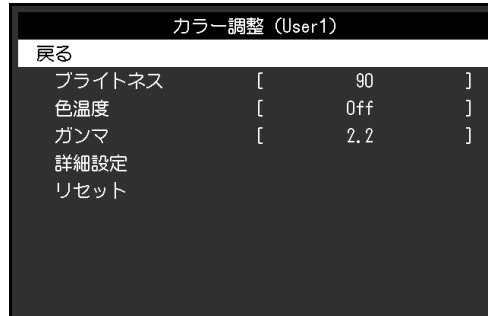
1. 設定メニューの表示

1. ●を押します。
設定メニューが表示されます。



2. 調整 / 設定

1. ◂◃で、調整 / 設定したいメニューを選択し、●を押します。
サブメニューが表示されます。



2. ◂◃で、調整 / 設定したい項目を選択し、●を押します。
調整 / 設定メニューが表示されます。



3. ◂◃で、調整 / 設定し、●を押して確定します。
サブメニューが表示されます。

3. 終了

1. サブメニューで「戻る」を選択し、**○**を押します。
設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューで「メニューオフ」を選択し、**○**を押します。
設定メニューが終了します。

参考

- **○**をすばやく続けて2回押しても設定メニューを終了させることができます。

3-2. 設定メニューの各機能

● カラー調整

カラーモードの設定状態を、お好みに合わせて調整できます。調整した設定状態はカラーモードごとに保存されます。



調整できる機能は、カラーモードにより異なります。

○：調整可 —：調整不可

機能	カラーモード		
	User1	User2	sRGB
ブライトネス	○	○	○
色温度	○	○	—
ガンマ	○	○	—
詳細設定	色合い	○	—
	色の濃さ	○	—
	ゲイン	○	—
リセット	○	○	○

注意点

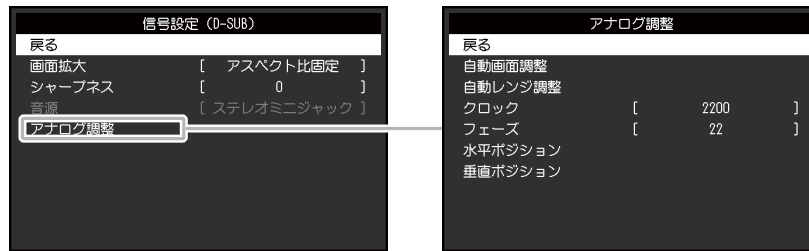
- モニターの表示が安定するまでに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色味を近づけるには、次の手順で調整してください。
 1. それぞれのモニターに白い画面を表示する。
 2. いずれか1台のモニターを基準に視覚的に判断しながら、「ブライトネス」「色温度」「ゲイン」を微調整する。

		設定値	説明
ブライトネス		0~100	バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。
色温度		オフ 4000K~10000K (500K単位、 9300K含む)	色温度を調整します。 通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するとき用いられるもので、K: Kelvin (ケルビン) という単位で表します。 炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。 参考 <ul style="list-style-type: none"> 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。 「オフ」で液晶パネル本来の色（ゲインの値はRGB各100）になります。 ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
ガンマ		1.8 2.0 2.2	ガンマ値を調整します。 モニターは入力信号のビデオレベルによって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> カラーモードで「sRGB」を選択すると、ガンマ値は「sRGB」と表示されます。
詳細設定	色合い	-50~50	色合いを調整します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
	色の濃さ	-50~50	色の濃さを調整します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 最小値 (-50) で白黒の画面となります。
	ゲイン	0~100	色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。 ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
リセット		—	現在選択しているカラーモードのカラー調整値を初期設定に戻します。

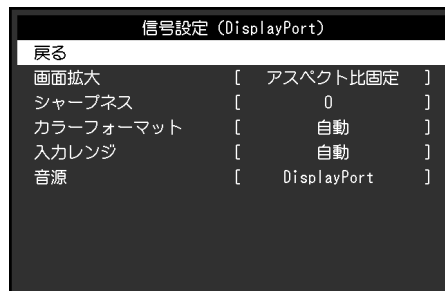
● 信号設定

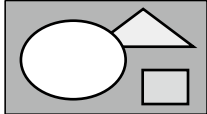
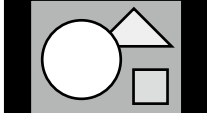

画面の表示サイズやカラーフォーマットなど、入力信号の詳細を設定します。

- D-Sub入力の場合



- HDMI / DisplayPort入力の場合



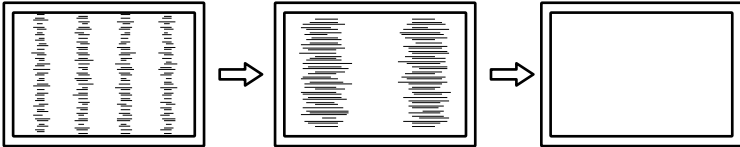
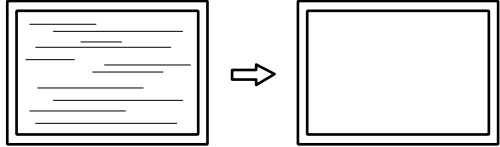
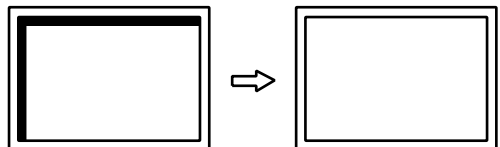
機能	設定値	説明
画面拡大	自動※1 フルスクリーン アスペクト比固定 等倍	<p>モニター画面に表示するサイズを切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動」 コンピュータから送信されてくるアスペクト比情報と解像度情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。 「フルスクリーン」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 「アスペクト比固定」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。 「等倍」 設定した解像度のまま、または入力信号のままの大きさで画像が表示されます。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定例 <ul style="list-style-type: none"> - フルスクリーン  - アスペクト比固定  - 等倍 (入力信号) 

機能	設定値	説明
シャープネス	-2~2	<p>低解像度を画面拡大（「フルスクリーン」または「アスペクト比固定」）で表示した場合、表示された画像の文字や線が、ぼやけて見える場合があります。このぼやけを軽減することができます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示解像度によってはシャープネスを設定する必要はありません。（「シャープネス」を選択することはできません。）
カラーフォーマット	自動 YUV 4:2:2 ^{※1} YUV 4:4:4 ^{※1} YUV ^{※2} RGB	<p>入力された信号のカラーフォーマットを指定できます。正しい色が表示できない場合に、設定を変更してみてください。</p>
入力レンジ	自動 フル リミテッド	<p>映像再生機器によっては、モニターに出力する信号のビデオレベルの黒および白が制限されていることがあります。このような信号をリミテッドレンジといいます。一方で、制限されていない信号をフルレンジといいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動」 入力信号の輝度レンジを自動的に判別し、適切に表示します（推奨設定）。映像再生機器によっては、リミテッドレンジ、フルレンジをモニターが正しく判別できない場合があります。その場合、「フル」または「リミテッド」を選択することで、適切な表示にすることができます。 「フル」 フルレンジの信号の場合に選択します。黒も白もつぶれている場合に選択すると、適切な表示になります。 「リミテッド」 リミテッドレンジの信号の場合に選択します。黒が淡く、白がくすんで表示される場合に選択すると、信号の出力レンジを0~255に拡張し、適切な表示になります。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 「カラーフォーマット」で「YUV」を選択すると、設定が「リミテッド」に固定されます。また、「自動」を選択しているときでも、モニターがYUVと判別した場合は、設定が「リミテッド」に固定されます。
音源	ステレオミニジャック HDMI ^{※3} DisplayPort ^{※2}	<p>HDMI信号入力時またはDisplayPort信号入力時の音源を切り替えることができます。</p> <p>注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> パネルマウント / シャーシマウントの場合は音源を切り替えることはできません。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声信号を含まないHDMI信号入力時およびD-Sub信号入力時は、設定が「ステレオミニジャック」に固定されます。

※1 HDMI入力の場合のみ有効

※2 DisplayPort入力の場合のみ有効

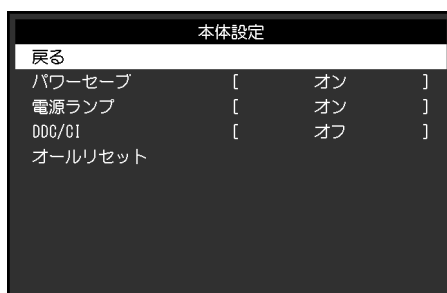
※3 音声信号を含むHDMI入力の場合のみ有効

機能	説明	機能
アナログ調整※4	自動画面調整	<p>画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整することができます。「自動画面調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。 <ul style="list-style-type: none"> - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合 - 壁紙など背景を黒で使用している場合 また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。 モニターに初めて信号を入力した場合、またはこれまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合は、自動的に調整されます（解像度が800×600（SVGA）以上の信号のみ）。
	自動レンジ調整	<p>信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように自動調整できます。「自動レンジ調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。</p>
	クロック	<p>画面の縦線や画面の一部に見られるちらつきを軽減できます。</p>  <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定が合ったポイントを見逃しやすいので、細かく調整してください。
	フェーズ	<p>画面全体のちらつきやにじみを軽減できます。</p>  <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。 設定後、画面に縦縞が現れた場合は、再度「クロック」を調整してください。
	水平ポジション 垂直ポジション	<p>画面の表示位置（水平、垂直）を調整できます。</p>  <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

※4 D-Sub入力の場合のみ有効

● 本体設定

使用環境やお好みに合わせて、モニター本体の設定をおこないます。



機能	設定値	説明
パワーセーブ	オン オフ	<p>コンピュータの状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。</p> <p>信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。</p> <p>省電力モードに移行すると、画面が非表示になり、音声も出力されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードからの復帰方法 <ul style="list-style-type: none"> - Ⓢ ボタンを押す - モニターに信号が入力される <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。 モニターを使用しないときは、主電源を切るか、電源プラグを抜くことで電力が消費されなくなります。
電源ランプ	オン オフ	通常動作モードの電源ランプ（青）を消灯することができます。
DDC/CI	オン オフ	DDC/CI通信の有効 / 無効を切り替えます。
オールリセット	—	<p>次の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Administrator Settings」メニュー内の設定

● 言語選択

メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。

設定値

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、簡体中国語、繁体中国語



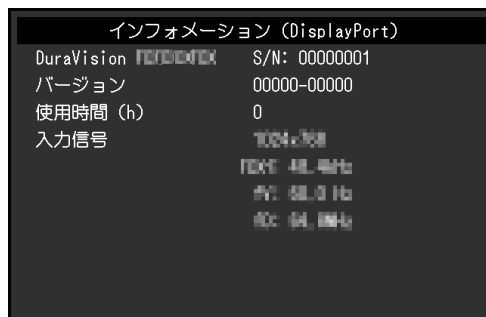
注意点

- 「Administrator Settings」メニューの表示言語（英語）は変更されません。
-

● インフォメーション

モニターの情報（製品名、製造番号（S/N）、ファームウェアバージョン、使用時間）と、入力信号の情報を確認できます。

例：



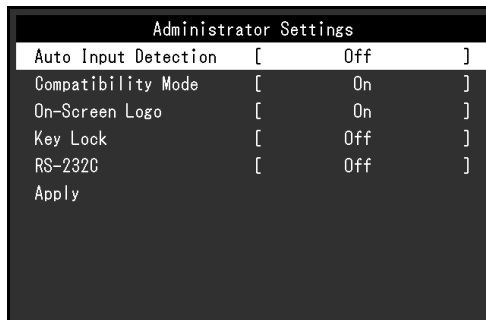
第4章 管理者向け設定

この章では、「Administrator Settings」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。

4-1. 「Administrator Settings」メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1. ④を押す、モニターの電源を切ります。
2. ④を押しながら、④を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
「Administrator Settings」メニューが表示されます。

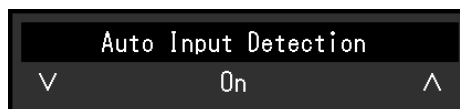


注意点

- パネルマウント / シャーシマウントの場合は、④を押しながら、④を2秒以上押してモニターの電源を入れます。

2. 設定

1. ④④で、設定したい項目を選択し、④を押します。
調整 / 設定メニューが表示されます。



2. ④④で、設定し、④を押します。
「Administrator Settings」メニューが表示されます。

3. 確定と終了

1. 「Apply」を選択し、④を押します。
設定が確定し、「Administrator Settings」メニューが終了します。

注意点

- 「Administrator Settings」メニューの言語（英語）は変更できません。



4-2. 「Administrator Settings」メニューの各機能

Administrator Settings		
Auto Input Detection	[Off]
Compatibility Mode	[On]
On-Screen Logo	[On]
Key Lock	[Off]
RS-232C	[Off]
Apply		

機能	設定値	説明
Auto Input Detection	On Off	<p>信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「On」 複数のコンピュータを接続している場合に、特定のコンピュータが省電力モードに入ったりモニターへの入力信号が失われたときは、信号が入力されている他のコネクタに自動的に切り替わります。 「Off」 入力信号の選択を手動でおこなう場合、この設定にします。モニター前面の操作ボタン (Ⓢ) で表示する信号を選択してください。詳細は「2-2. 入力信号を切り替える」(P.5)を参照してください。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能の設定にかかわらず、背面の主電源スイッチを入れた直後は、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。 この機能が「On」に設定されている場合は、すべてのコンピュータから信号が入力されなくなったときのみ、モニターの省電力機能が動作します。
Compatibility Mode	On Off	<p>次の現象を回避したい場合は、この機能を「On」に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> モニターの電源をオフ/オンした場合や省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれる。
On-Screen Logo	On Off	<p>この製品の電源を入れると、画面にEIZOロゴが表示されます。この機能を「Off」に設定すると、EIZOロゴを非表示にすることができます。</p>
Key Lock	Off Menu All	<p>設定した状態を変更できないように、モニター前面の操作ボタンをロックすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Off」(初期設定) すべてのボタンが有効です。 「Menu」 Ⓢボタンをロックします。 「All」 電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。
RS-232C	On Off	<p>RS-232Cケーブルを接続して、タッチパネルを使用する場合に設定します。初期設定では、RS-232Cシリアル転送が無効になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「On」 RS-232Cケーブルの接続が有効になります。 「Off」 RS-232Cケーブルの接続を無効にする場合は、この設定にします。

第5章 こんなときは




5-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">電源コードは正しく接続されていますか。背面の主電源スイッチを入れてください。Ⓞを押してください。背面の主電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。DC電源端子台に電源を入力してこの製品を使用している場合、保護機能が動作している可能性があります。次の点を確認してください。<ul style="list-style-type: none">電源ジャックにプラグ（DC電源コード）が挿入されている場合は、プラグ（DC電源コード）を抜いてください。電源ジャックにキャップが付いている場合は、キャップを外してください。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：青色	<ul style="list-style-type: none">設定メニューの「ブライツネス」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「カラー調整」（P.8）参照）。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：橙色	<ul style="list-style-type: none">Ⓞで入力信号を切り替えてみてください。「Administrator Settings」メニューの「Compatibility Mode」で、設定を「On」にしてください（「Compatibility Mode」（P.16）参照）。マウス、キーボードを操作してみてください。タッチパネル面にタッチしてみてください。コンピュータの電源は入っていますか。背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
<ul style="list-style-type: none">信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	<ul style="list-style-type: none">コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。コンピュータの電源は入っていますか。信号ケーブルは正しく接続されていますか。入力信号を切り替えてみてください。背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。「Administrator Settings」メニューの「Auto Input Detection」の設定を「Off」にして、手動で入力信号を切り替えてみてください（「Auto Input Detection」（P.16）参照）。
<ul style="list-style-type: none">入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 例： 	<ul style="list-style-type: none">コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「6-2. 対応解像度」（P.23）参照）。コンピュータを再起動してみてください。グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

5-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ブライトネス」を調整してください（「カラー調整」（P.8）参照）。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。）
2. 文字や画像がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「6-2. 対応解像度」（P.23）参照）。 OSの拡大表示の設定を「100%」にしてみてください。複数のモニターを使用している場合は、すべてのモニターの拡大表示の設定を「100%」にしてみてください。
3. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る / 点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる / 液晶パネルを押した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
7. 電源のオフ / オン時や省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 「Administrator Settings」メニューの「Compatibility Mode」で、設定を「On」にしてください（「Compatibility Mode」（P.16）参照）。
8. 画面の色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「カラーフォーマット」を変更してみてください（「カラーフォーマット」（P.11）参照）。
9. 画面全体に画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「画面拡大」を変更してみてください（「画面拡大」（P.10）参照）。 コンピュータの解像度の設定がモニターの解像度と一致しているか確認してください。
10. 画面を拭いても曇りが取れない / ガラスの内側に結露が生じた	<ul style="list-style-type: none"> 画面を拭いても曇りが取れない場合は、液晶パネルを保護しているガラスの内側に結露が生じていることがあります。しばらくすると結露は消えます。なお、このようにガラスの内側に結露が発生しても、製品の故障や劣化には影響はありません。

5-3. 画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
<p>1. 画像がずれている</p> 	<ul style="list-style-type: none">設定メニューの「水平ポジション」「垂直ポジション」で画像の位置を合わせてください（「水平ポジション」(P.12)「垂直ポジション」(P.12) 参照）。グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
<p>2. 次画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている</p> 	<ul style="list-style-type: none">設定メニューの「クロック」で調整してみてください（「クロック」(P.12) 参照）。
<p>3. 画面全体がちらつく、にじむように見える</p> 	<ul style="list-style-type: none">設定メニューの「フェーズ」で調整してみてください（「フェーズ」(P.12) 参照）。

5-4. タッチパネルに関する症状

注意点

- ・タッチパネルドライバのインストール方法、使用方法などの詳細は、タッチパネルドライバの取扱説明書を参照してください。

症状	原因と対処方法
1. カーソル位置がずれる / カーソルが飛ぶ	<ul style="list-style-type: none">・モニターの電源を入れなおしてみてください。それでも症状が改善されない場合は、タッチ位置の補正を実施してください。・1本の指でタッチするようにしてください。・タッチパネルドライバの設定ツールで、「EEPROM」の「使用する」、または「EEPROM有効」にチェックが入っている場合は、タッチ位置の補正を実施してください。・推奨解像度以外の解像度で表示する場合、グラフィックスボードのスケール機能の影響でタッチ位置とカーソル位置がずれることがあります。グラフィックスドライバの設定を確認し、グラフィックスドライバでのスケールからモニターのスケールに変更してください。設定を変更した後、もう一度タッチ位置の補正を実施してください。
2. タッチ操作が効かない	<ul style="list-style-type: none">・セットアップマニュアルまたは取扱説明書に記載のケーブルでモニターとコンピュータを接続してください。変換アダプタなどを利用すると、タッチパネルが正しく動作しない場合があります。・他のログインユーザーが設定を変更した可能性があります。設定をやり直してください。・タッチパネルドライバの設定ツールを再起動するか、コンピュータを再起動してください。・RS-232Cケーブルを使用している場合は、ケーブル接続後、コンピュータを再起動してください。また、「Administrator Settings」メニューの「RS-232C」の設定が「On」になっていることを確認してください（「RS-232C」(P.16) 参照）。
3. タッチパネルの表面にたわみが生じる	<ul style="list-style-type: none">・タッチパネルの構造上、高温多湿の環境ではタッチパネルの表面にたわみが生じることがあります。故障ではありません。
4. タッチ音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none">・コンピュータのハードウェア構成によっては、コンピュータの音声出力端子からタッチ音を出力しない場合があります。・Windowsで使用する場合は、コンピュータの音声出力端子からのみ音が出力されます。タッチ音を鳴らす場合はスピーカーを接続してください。・パネルマウント / シャーシマウントは音声入力に対応していないため、音声は出ません。

5-5. その他の症状

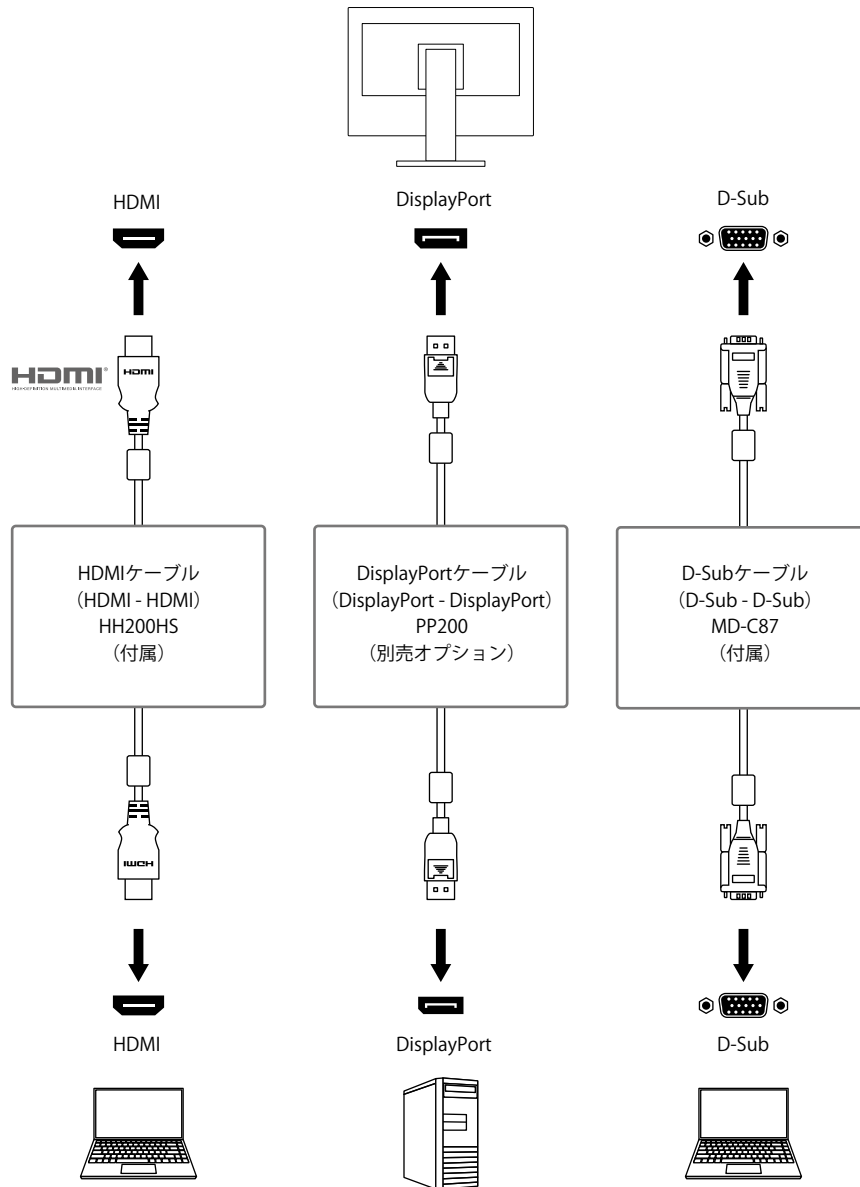
症状	原因と対処方法
1. 設定メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none">操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「Key Lock」 (P.16) 参照）。
2. 設定メニューの項目が選択できない	<ul style="list-style-type: none">グレーの文字で表示されている項目は、変更できません。
3. 音が出ない	<ul style="list-style-type: none">ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。音量が「0」になっていませんか。コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。DisplayPort入力時およびHDMI入力時は「音源」の設定を確認してみてください（「音源」 (P.11) 参照）。パネルマウント/シャーシマウントは音声入力に対応していないため、音は出ません。

第6章 ご参考に

6-1. 複数のコンピュータを接続する

この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

● 接続例



注意点

- タッチパネルはUSB接続またはRS-232C接続されているモニターに対してのみ動作します。

参考

- モニター前面の操作ボタン (Ⓢ) で表示する入力信号を選択できます。詳細は「[2-2. 入力信号を切り替える](#)」(P.5)を参照してください。
- 信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示する機能を搭載しています。詳細は「[Auto Input Detection](#)」(P.16)を参照してください。

6-2. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

○：対応　－：非対応

解像度	垂直走査周波数 (Hz)	DisplayPort	HDMI	D-Sub
640×480	59.940	○	○	○
640×480	60.000	○	○	－
640×480	72.809	－	－	○
640×480	75.000	－	－	○
720×400	70.087	○	○	○
720×480	59.940	○	○	－
720×480	59.941	○	○	○
720×480	60.000	○	○	－
800×600	56.250	－	－	○
800×600	60.317	○	○	○
800×600	72.188	－	－	○
800×600	75.000	－	－	○
1024×768 ^{※1}	60.004	○	○	○
1024×768 ^{※1}	70.069	－	－	○
1024×768 ^{※1}	75.029	－	－	○

※1 推奨解像度です。

参考

・ スキャン方式はプログレッシブにのみ対応しています。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。

USB Type-C、USB-CはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Inc. (アドビ社) の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i-Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、ScreenCleaner、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

保証書について

この製品の保証書はセットアップマニュアルにあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・ お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- ・ お買い上げ年月日、販売店名
- ・ 製品名、製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例：S/N 12345678）
- ・ 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS、システムのバージョン / 表示解像度など）
- ・ 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- ・ エラーコード（画面に表示された場合）

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。

当社製品は、一般社団法人「パソコン3R推進協会」が回収させていただきます。

回収を希望されるお客様は当社のWebサイトよりお申し込みください。

(www.eizo.co.jp)

※ この製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。

